

私たちのまち、取手市に寄せて

取手市は、市民の皆さんと一緒に歩んできました。今回、取手市制施行50周年記念事業実行委員会会長の島田さんをはじめ、さまざまな年代の方6人からお話を伺いました。皆さんの思い出・今後に期待すること・50周年に寄せた思いなどを紹介します。



ゆっくりと発展するまちに

島田忠幸さん
 実行委員会会長として、未来に向けて続けていける事業を進めたいと思っていました。1月には市の花であるフジの植樹式も行われる予定です。人生100年とすれば50周年はちょうど真ん中です。これからも急がずに、ゆっくりと発展して行ってほしいと思っています。



住み心地のいいまちで

丸山卯さん
 ふれあい道路の開通や取手二高の甲子園優勝、友達と自然の中で遊んでいたことなど、ここで過ごした思い出はたくさんあります。取手市は静か過ぎず、交通の便も良く、自然も景色もいい、住み心地のいいまちです。これからもこの良さが続いていってくれるといいと思います。



友達と気軽に遊べるまち

櫻村悠稀さん
 市内には、友達とサッカーができる公園がたくさんあります。気軽に遊びに行けるような環境があることは取手の良さだと思います。これから高校・大学と進学していきます。市内から通える範囲で選択肢が多いこともメリットだと感じています。まさに、ほどよく絶妙なまちですね。



外に出て子育てしやすいまち

小泉麻友美さん・日瑚ちゃん
 地域子育て支援センターが4カ所あり、コロナ禍でも子どもが遊べる場所になっています。プレママ教室では、同世代の子を持つ親同士で仲良くなれました。閉鎖的にならずに、外に出て子育てしやすいまちだと思っています。子どもにも、伸び伸び育ててほしいですね。



大好きなまちへ恩返しを

糸賀昂大さん
 私は生まれてから今までの19年間をここ取手で過ごし、多くのことを経験し学びました。そんな取手市の全てが私は大好きです。成人式実行委員会委員長として、取手市に恩返しできる時が来たと思いついています。就職した後も、大変な時は故郷を思い出して頑張りたいです。



人と人がつながるまちに

椎名一夫さん
 取手市制施行は、ちょうど私が社会人になったころの話でした。それから、大企業の工場が建ち、電車の本数が増え発展していく取手市を見ってきました。変わっていくものもありますが、地域での人と人とのつながりを大切にできるようなまちであってほしいと思います。

市制施行 50周年を祝う 記念式典・花火

10月2日、市制施行50周年を祝い、記念式典と記念花火の打ち上げを行いました。当日の様子は、動画で公開しています。

式典

花火